

■海外で外国語研修を体験しよう！

実際に現地で生活をしながら外国語を学び、教室では得られない生きた言葉や異文化に触れることによって、外国語能力が伸びるだけではなく、外国語学習に対する意欲もより一層高まります。また、今後の人生に大きな影響を与える出会いに巡り会うこともあるので、海外研修は自己を見つめ直す貴重な機会にもなります。

国際コミュニケーションセンター (SOLAC) では、神戸大生にふさわしい、英語、中国語、ドイツ語、フランス語の海外短期研修プログラムを提供しています。実施要領の詳細は SOLAC の HP [<http://www.solac.kobe-u.ac.jp/2010/03/post-21.html>]に随時掲載しています。(※以下の研修費用はあくまでも概算であって、為替レートの変動によっては変更されることがあります。)

英 語

2012 年度ワシントン大学夏季英語研修 (アメリカ合衆国)

ワシントン大学は、アメリカ西海岸最北部のワシントン州の中心都市シアトルに位置する歴史ある州立大学で、州立大学トップ校で形成される「パブリック・アイビー」の一つでもあります。大学内には、図書館、コンピューター室、ジム、ビリヤード場、美術館といった充実した施設が整っています。(※本研修の成績を、神戸大学における「英語オールラル III」の成績として読み替えることができます。詳細は巻末の資料「英語科目特別評価制度」を参照のこと。)

時期：8月25日(土) 出発 ～ 9月18日(火) 帰国 研修費用：約 435,000 円



グリフィス大学夏季英語研修 (オーストラリア) (2013 年度以降再開予定)

グリフィス大学はオーストラリア・クインズランド州のブリスベン市とゴールドコーストにキャンパスを持つ公立大学です。自然に囲まれた環境で会話中心の英語の授業を受けることができます。

参考サイト：<http://www.bsig.org/greer/geli2010.html>

中国語

2012 年度北京外国語大学夏季中国語研修（中華人民共和国）

北京外国語大学は、中国における外国語大学の最高学府です。豊富な食文化と優れた芸術を誇る中国の首都北京で、その歴史を感じながら、充実した研修が受けられます。

時期：8月11日（土）出発～9月2日（日）帰国（予定） 研修費用：約200,000円



ドイツ語

2012 年度グラーツ大学夏季ドイツ語研修（オーストリア）

グラーツ大学は、世界遺産にも認定された美しい街並みをもつオーストリアの古都グラーツにある大学です。大学周辺は数多くの研究者や学生が住んでいる大学街となっています。

時期：8月28日（火）出発～9月26日（水）帰国（出発直前に神戸で事前研修有り）

研修費用：約300,000円 および 事前研修（1週間）費用：約20,000円

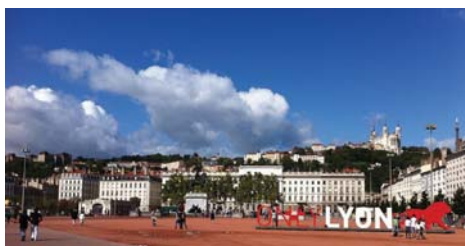


フランス語

2012 年度リヨン・カトリック大学夏季フランス語研修（フランス）

リヨン・カトリック大学は、フランス第二の都市リヨンにあります。古い歴史と美しい街並みからユネスコの世界遺産都市にも選ばれたリヨンでは、フランス語の学習はもちろん、フランスの歴史や文化を身近に体験できます。

時期：9月1日（土）出発～9月30日（日）帰国 研修費用：約370,000円



■ 海外外国語研修へ参加するにあたっての FAQ

Q：研修の概要を教えてください。

A：まず、平日は毎日、研修先の大学で授業を受けます。(宿題が出ることもあります。)そして、授業後には、課外活動が用意されており、異文化交流も体験できます。授業や課外活動の詳細は HUB 室 (D408) 内に掲示されているポスターをご覧ください。

Q：研修について質問があるのですが、誰に聞けばいいですか？

A：各研修の担当の先生にメールでお問い合わせ下さい。

英語研修担当	木原 恵美子 准教授	emiwamoto@aquamarine.kobe-u.ac.jp
中国語研修担当	宇都 健夫 准教授	t_uto@people.kobe-u.ac.jp
ドイツ語研修担当	栴田 義一 教授	masud@kobe-u.ac.jp
フランス語研修担当	三木 賀雄 教授	ymiki@kobe-u.ac.jp

Q：未修語学は勉強を始めてまだ数か月しかたっていませんが、研修に参加できますか？

A：学習意欲と興味さえあれば、問題無く参加できます。実際に、毎年、複数名の 1 年生が参加しています。

Q：去年 (2011 年実施) の研修の参加人数を教えてください。

A：ワシントン大学研修の参加人数は 39 名 (1 年生 16 名、2 年生 20 名、3 年生 3 名)、北京外国語大学研修の参加人数は 9 名 (1 年生 3 名、2 年生 6 名)、グラーツ大学研修の参加人数は 14 名 (1 年生 2 名、2 年生 7 名、3 年生 5 名)、リヨン・カトリック大学研修の参加人数は 18 名 (1 年生 5 名、2 年生 10 名、4 年生 2 名、修士 1 年 1 名) でした。

Q：助成金はどれくらい支給されるのでしょうか？

A：本学の学生の海外派遣支援のため、学生 1 人あたりに数万円の助成金が大学から支給されます。詳細な金額は全研修の申込締切後に決定されます。

Q：研修後の研修生の状況を教えてください。

A：2011 年度の研修生の研修後の学習状況は次のページでご確認下さい。



ワシントン大学英語研修

【検定試験】

研修生が研修後に受験した検定試験のスコアは以下の通りです。

[TOEIC IP テスト (2011 年第 3 回実施分)]

1 年生の研修生 (16 名) のスコア : 平均 718、最高 830 (cf. 神戸大 1 年生のスコア : 平均 596.6)

2 年生以上の研修生 (4 名) のスコア : 平均 780、最高 850 (cf. 神戸大 2 年生以上のスコア : 平均 620)

[TOEFL iBT テスト]

1 年生の研修生 (4 名) のスコア : 平均 78.5、最高 79

【長期留学】

神戸大学の交換留学制度を利用して、3 名の研修生が、2012 年度中に、アメリカ・ユタ州立大学 (1 名)、ベルギー・ルーヴァンカトリック大学 (1 名)、韓国・ソウル国立大学 (1 名) に 1 年間留学する予定。

北京外国語大学中国語研修

【検定試験】

研修生 (2 名) が研修後に受験した検定試験で取得した級は以下の通りです。

漢語水平考試 (HSK) : 3 級および 4 級合格

中国語検定試験 : 3 級合格

【長期留学】

神戸大学の交換留学制度を利用して、2 名の研修生が、2012 年度中に、中国人民大学 (1 名) と香港大学 (1 名) に 1 年間留学する予定。また、1 名の研修生が中国語言大学に 1 年間私費留学する予定。



グラーツ大学ドイツ語研修

【検定試験】

研修生が研修中および研修後に受験した検定試験で取得した級は以下の通りです。

CEFR の A1 レベル : 研修生 14 名全員合格

ドイツ語技能検定試験 : 3 級合格 (1 名)

【長期留学】

神戸大学の交換留学制度を利用して、毎年 2-3 名の研修生が、グラーツ大学に 1 年間留学しています。

リヨン・カトリック大学フランス語研修

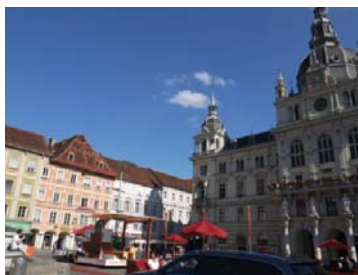
【検定試験】

研修生が研修後に受験した検定試験で取得した級は以下の通りです。

実用フランス語技能検定試験 : 準 2 級 1 次試験合格 (1 名、2012 年 2 月現在)

【長期留学】

神戸大学の交換留学制度を利用して、4 名の研修生が、2012 年度中に、グルノーブル第三大学 (3 名) とレンヌ大学 (1 名) に 1 年間留学する予定。



■ワシントン大学研修体験記

小黒 夏輝くん（工学部 1年）

今回のワシントン大学研修は初海外渡航、初ホームステイと初体験なものばかりで、毎日の生活自体が自分にとって英語の学びの場でした。最初は英語をなかなか聞き取れず、言葉にすることも時間がかかりましたが、ホストファミリーを含めた現地の人々はゆっくり話してくれたり、つたない自分の英語を理解してくれようとしてくれたので、自分自身ももっと聞き取れるようになろう、もっと話せるようになろうと思うことができました。

授業では先生が英語の細かい発音から、会話に必要な表現まで、たくさんのことを丁寧に教えてくださり、授業の最後には自分が調べたことと、それに対する自分の考えを英語で発表することができました。

この研修で自分の将来に対する視野が広がりました。いろいろな国へ行っているいろいろな国の文化に触れてみたい、外国の人たちともっと交流してみたいと思いました。そのためには英語をもっと上達させなければならない。自分のやりたいことと目標のために、これからいろいろ考えながら大学生活を送りたいと思います。今後の自分の将来に影響する研修になったと思います。



■北京外国語大学研修体験記

末安和樹さん（発達科学部 1年）

この北京外大研修は、僕にとっての海外初体験となりました。海を少し超えたところにあるお隣の国ながら、言葉はもちろん、雰囲気も全く日本と違っていました。全体的に「大きい」というのが印象です。日本では考えられないようなスケールで、都市が出来上がっていて驚くばかりでした。

肝心の語学の方はというと、1年生の僕でもついていけるくらいのレベルでしたので、安心しました。ただ、発音についてはあまくはありませんでした……。何度も、何度も言い直したのを覚えています。そして、中国語で中国語を教えてください。最初の一週間は、先生が何を言っているのか分らず、あたふたしていましたが、時間が経てば慣れて受け答えできるようになりました。あと、発音だけは厳しかったですね。

個人的な時間も多く、観光も十分できましたし、小旅行やホームステイなどの企画もあって充実した時間を過ごすことができました。何事も初体験だったこともあって、毎日わくわくしていたのを覚えています。

語学に対する意識も上がりました。やはり、その国に行ってみて言葉の必要性を感じると、「言葉を覚えない」と素直に思えてくるようです。現地の人と言葉が通じたときの喜びは、忘れ難いものです。

思いつきで、参加してみた研修でしたが、行って良かったと思います。



■ グラーツ大学研修体験記

大久保絵里子さん（国際文化学部 3 年）

オーストリア第二の都市グラーツ市は、旧市街地が世界遺産にも登録されている歴史ある美しい街です。2011 年 9 月、そんな市の中心部に位置するグラーツ大学で三週間のドイツ語研修に参加してきました。ドイツ語の授業はレベル別にクラスが分けられたため、自分のドイツ語レベルに合った授業を受けることができ、授業内容は会話から文法までどれも楽しく、そしてためになるものばかりでした。毎日出される宿題や、週に 1 回ほど行われたテストなどで、短期間でしたがかなりドイツ語の力がついたと思います。また、一クラスあたりでは日本人生徒の数が少なく、世界各国から来た他の生徒同士の間で、少しのドイツ語と流暢な英語による会話が繰り広げられ、最初はそれらになかなかついていけませんでした。しかし毎日そのクラスで過ごすうちに、ドイツ語だけでなく英語によるコミュニケーション能力もアップし、次第に友達も増え、一緒にご飯に行ったりパーティに呼ばれたりするくらい仲良くなった友達もいました。授業は平日の午前中のみだったので、授業後は旧市街まで歩いて行きランチを楽しんだり、お洒落な雑貨屋さんを見つけては買い物を楽しんだり、毎日旧市街地内を歩き回りました。世界遺産に登録されている美しい街並みゆえに毎日歩いても次々と新しい魅力を発見し、飽きることはありませんでした。週末にはウィーンなど少し遠方へも旅行し、ヨーロッパ有数の観光地を堪能することもできました。こうして過ごした三週間は本当に充実してあっという間の三週間でした。



■ リヨン・カトリック大学研修体験記

黒田直子さん（国際文化学部 2 年）

フランスを訪れるまでは、言語の壁や、食事の習慣の違いは予想していましたが、実際訪れて感じたのは、もっと多くの感覚のずれでした。

まず、芸術を受け入れる感覚の広さと豊かさには、あちこちで驚かされました。大勢の人が行き交う道で朗々と歌声を披露する中年男性、メトロの通路の片隅でサクスを吹く人、チェロを弾く人。フランス人には、芸術はいかなる場所においても楽しむべきものであるようです。

リヨン・カトリック大学での授業は、正直なところ最初は苦痛以外のなにものでもありませんでした。まず先生のおっしゃっていることが聞き取れない、そのことが私にとっての一番の悩みでした。しかし、授業を受けていくにつれて、少しずつフランス語の断片が聞き取れるようになってきて、先生やクラスメイトの言っていることが少しでもわかる、そのことがただただ嬉しかったのを覚えています。それからは、勇気をだして自分から積極的にフランス語をしゃべるよう心がけるようになりました。私のクラスには、台湾やシリア、スペイン、ロシア、中国などからの留学生がいましたが、言語の壁はあっても、伝えたい、あなたと仲良くなりたい、あなたのことが知りたい、そういう気持ちを伝えさえすれば誰とでも親しくなれるのだと気付くことができました。

この一ヶ月で味わった様々な想いは、一生の宝物になると思います。

